

渡良瀬川 学習スポット紹介

この場所だから
できること

渡良瀬川河川事務所が流域の小学校と
これまで協同で活動を行った場所の紹介です。
これ以外にもたくさんよい場所があるので
発見してみよう!

1 体験植樹

難易度
★★★★☆



渡良瀬川の最上流部の山々は、有名な足尾銅山の煙害で、木や草が枯れ、はげ山となってしまいました。その後、緑を取り戻すため様々な取り組みが行われてきて少しずつもとの姿に戻ってきています。みんなも足尾の山に緑を取り戻す活動に参加してみましょう。

急傾斜地で、容易に立ち入れられる場所も少なく、体験植樹の量にも限りがあります。
問い合わせ先:足尾砂防出張所(TEL0288-93-2151)

2 上流の川を体験する

難易度
★★★★☆



渡良瀬川は足尾砂防堰堤上流で久蔵川、松木川、仁田元川が合流し、渡良瀬川と名前を変えて流下します。その下流で合流する神子内川には上流部では比較的容易に水辺にアクセスできるように整備されたところがあり、上流部での水質や生物、水温、石の大きさなどが観察できます。

大きな石やとがった石が多いので安全のためヘルメットをかぶりましょう。

3 野鳥や植物を観察する

難易度
★★★★☆



太田市の河川緑地公園周辺や足利市の岩井山周辺は、たくさんの野鳥や植物を観察することができます。双眼鏡や図鑑をもって観察してみましょう。わたらせ川のふれあい館ではガイドブック「岩井山周辺の植物」を配布しているので利用してみましょう。

野鳥や植物の見分けは慣れないと難しいので、詳しい専門家に相談して教えてもらいながら観察してみましょう。

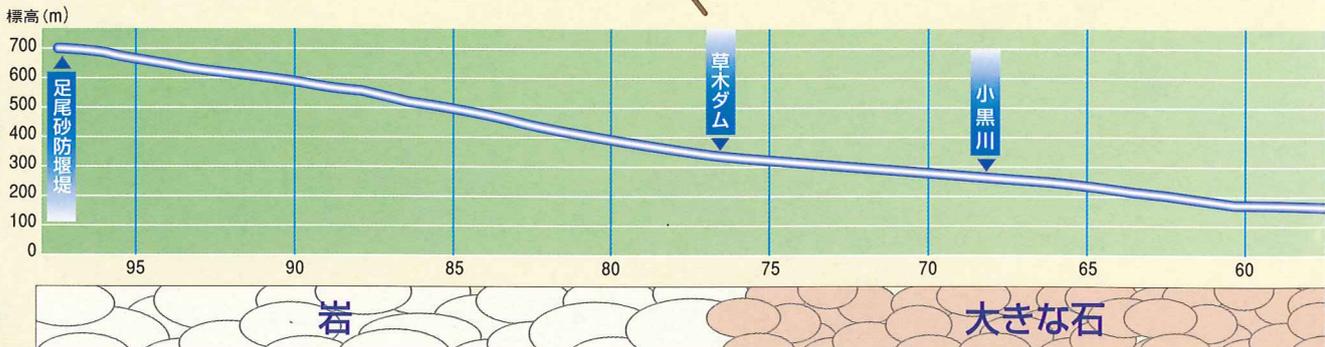
4 川を自分の足で渡ってみる

難易度
★★★★☆



太田市河川緑地公園が面した渡良瀬川は水量や水深など川に実際に入って水に親しむのにとっても適した場所です。川を自分の足で渡ってみることで流れの強さや水の冷たさを全身で体感して、渡りきったときの達成感を味わってみましょう。

指導者がロープを張り、ロープづたいに渡ってみましょう。安全対策としてライフジャケット、水着の着用、滑らない運動靴を履きましょう。



5 川の流りに流されてみる

難易度
★★★★☆



川渡りを体験して水の流りの強さを体感したら、川の流りに流されてみましょう。はじめは流れのおだやかなところからはじめ、少しずつ川の流りに

慣れ、深く流れの強いところへも勇気をだして、飛び込んでみましょう。

必ずライフジャケットを着用しよう。指導者は活動範囲内をロープで張って流されないように監視しよう。

6 いかだで川下り

難易度
★★★★★



川渡りや川流りを十分体験して、川の流りに慣れてきたら、いかだで川を下ってみよう。自分たちで工夫して知恵を出し合って作ったいかだの方が安定して川を下れるようです。ペットボトルやタイヤのチューブなどを組み合わせて作りました。

いかだから川に落ちたときのような行動をとったらよいか確認し、実際に泳いで陸に戻れるか確認しましょう。川の中には必ず指導者を多数配備して安全確保につとめましょう。

7 ターザンになる

難易度
★★★★☆



渡良瀬川には樹林の発達したところがいくつかあります。登りやすい木を見つけて木を登ったり太いつるの木の木にぶらさがって遠くへ跳んでみたりできます。昔の堤防や取水堰などもあったり、川の林の中には発見がたくさんあります。

安全のためヘルメットや軍手を着用しましょう。大勢で活動する場合は安全性を確認し、登っても良い木には目印を付けるなど工夫しましょう。

9 桐生川上流での活動

難易度
★★★★☆



渡良瀬川の支川、桐生川はとてもきれいです。桐生川ダムの上流部では、これを清流という雰囲気を感じられます。上流部の川の様子や、水温、水質、ゴミの量などを調査することができます。

8 砂浜が広がる下流での活動

難易度
★★★★☆



渡良瀬川の川底は上流から下流につれて変化しています。邑楽頭首工の下流になると砂が多くなっています。渡良瀬川が利根川に合流する付近は、海辺のような砂浜になっていて走ったり、水中では足が砂に埋もれたり、上中流部では体験できないことがたくさんできます。

渡良瀬川と利根川の合流付近では時季によってハクレンのジャンプを見ることができます。

10 桐生川での活動

難易度
★★★★☆



梅田清流広場が面した桐生川では水生生物の調査ができます。川幅が狭く、流れも強いので、ライフジャケットを着て調査を行いましょう。ヘビトンボやサワガニなどがたくさん観察できます。梅田清流広場は水道やトイレが設置されていて川での学習にとっても便利な広場になっています。

11 渡良瀬川からの水利用をたどる

難易度
★★★★☆



渡良瀬川の水は昔から地域の農業・工業に利用されてきました。渡良瀬川を軸に多くの農業用水路が張りめぐらされています。身近なところにある水路をたどって渡良瀬川まで歩いてみると、渡良瀬川と地域とのつながりがとてもよくわかります。



水質調査



1 川の恵みを食べる

難易度
★★★★☆



水辺にあるクレソン（オランダガラシ）やニセアカシア（ハリエンジュ）の花、ムクノキの実やクワの実など、食べることでできる植物や実があります。

詳しい大人の人に教えてもらいながら摘んで、そのまま食べてみたり、みそ汁やおひたしを作って食べてみましょう。

2 石の重さ当て

難易度
★★★★☆



渡良瀬川はとても急な勾配の河川です。上流のとても大きい石も下流まで流れてくる間に削られて砂になってしまいます。いろいろな大きさの石が川にはありますが、1kgの重さの石はどれか、自分の重さの感覚を試してみましょう。

3 水生生物調査、水質、水温、流れの速さ

難易度
★★★★☆



渡良瀬川の水量や水質、そこに棲む生物も上流から下流で変化があります。そこに棲む水生生物を調べること、水のきれいさがわかります。また、水質を簡単に測定する器具や水温の測定、川の石や砂の温度の測定、流れの速さなどを測定すると川の特徴を知ることができます。

調査をするための道具は渡良瀬川河川事務所貸し出しています。

渡良瀬川の上・中・下流でできること

比較して川の特性を知る

4 石や砂を使った造形

難易度
★★★★☆



川にある石をみんなで協力して積み上げて大きな塔をつくらったり、下流部では砂で池や城をつくらたりすることができます。良い形の石を探して大きな石の塔をつくってみましょう。崩れたりしても、くじけずに積み上げてみましょう。

5 川の碑を調べる

難易度
★★★★☆



渡良瀬川沿いにはたくさんの碑があります。これらは河川の工事の記念碑や洪水での被害者を供養する碑、農業用水の工事記念碑などです。碑を探して渡良瀬川の歴史について調べてみましょう。

6 魚捕りをする

難易度
★★★★☆



川に来たらまずやってみるのが魚捕りではないでしょうか。渡良瀬川ではオイカワやコイ、フナの稚魚が多く見られます。また、ギバチやヤツメウナギなど珍しい魚が見つかることもあります。素早くてなかなか捕れないかもしれないけれど、みんなで協力して追い込んだり、試行錯誤して、捕れたときの達成感を味わってみましょう。

ムクノキの実を食べてます。



どんな味？

川学習で注意事項

1 スタッフの下見を徹底しよう



川での活動を行う前に、かならず指導者やスタッフで活動場所の下見をしてください。実際の川を見てどのような活動ができるか観察し体験するなどして、川での活動の注意事項や進行方法をスタッフの共通認識とした上で活動を行いましょう。

2 安全対策を十分に



川での活動は常に危険となりあわせです。活動ではライフジャケットを着用するなど十分な安全確保を行いましょう。また、万が一のけが人への対応ができる人や蘇生法等を心得ている人が指導者にいることが安全対策上必要です。楽しい川での学習ですが、いろいろな危険を伴う活動もあるため、万が一の時のために保険に加入するなどの備えも必要です。

3 多くの支援者の協力を得て活動する



川での学習には多くの支援者が必要です。先生方、保護者をはじめ、ボランティア団体や専門家など、できるだけ多くの支援者を得て活動を行うことが成功への近道です。また、活動に伴い、けがをしたり、風邪をひいたりすることがあるかもしれません。保護者の方に活動の主旨を十分理解してもらいましょう。

4 気象状況に十分な注意を



渡良瀬川は大きな洪水によってたびたび川の流れを変えてきました。大雨の後には同じ場所でも様子が一変してしまい、活動できなくなったり

することもあります。活動の安全のため、必ず活動毎に事前の調査をしたり、渡良瀬川河川事務所と相談してみましょう。

